

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

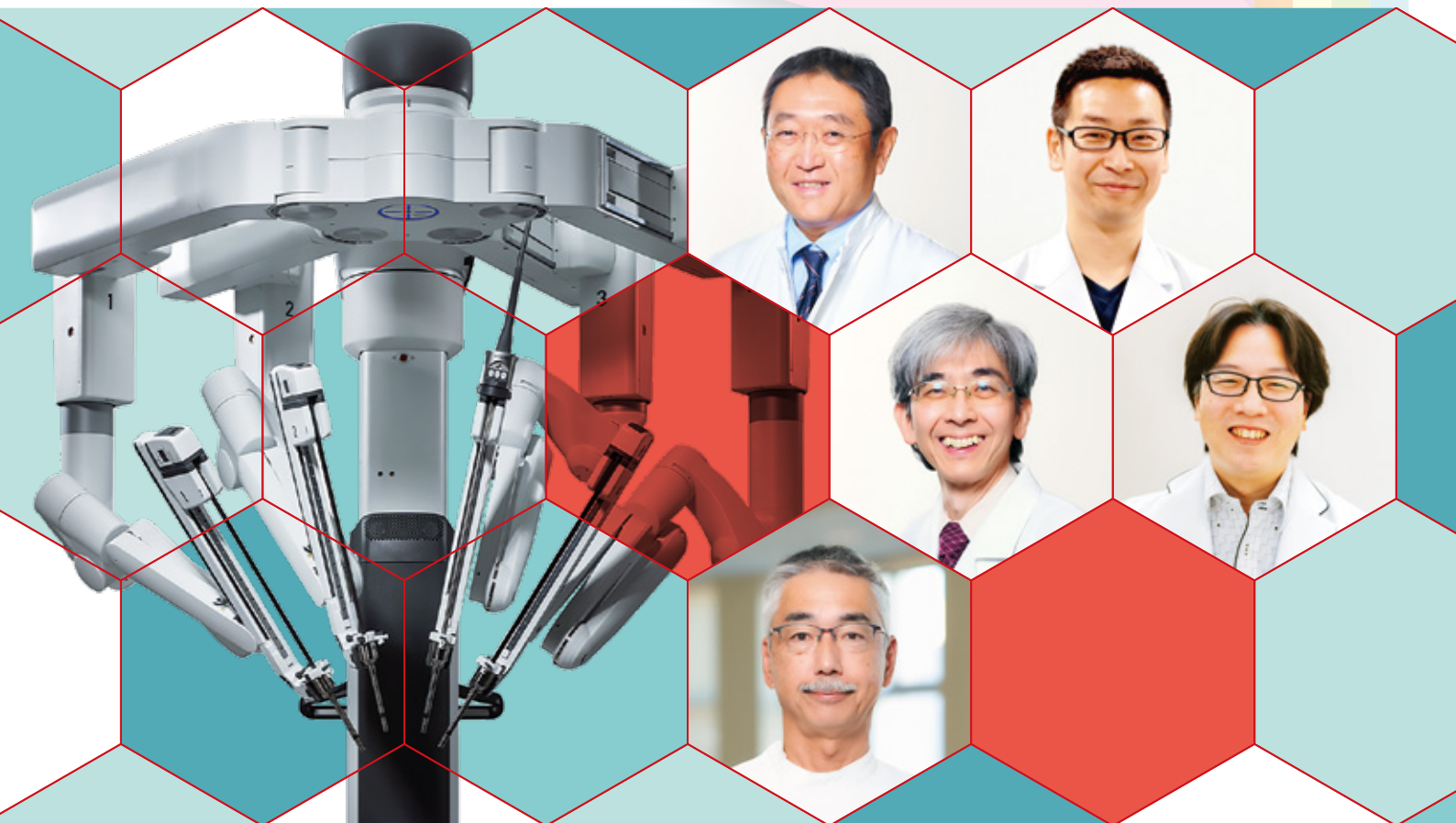
<http://www.mito.jrc.or.jp>

Vol. 40

100
Anniversary
since
1923
2023

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



ダ・ヴィンチ特集 ～ロボット支援手術と医師たち～

ダ・ヴィンチ

▶▶▶ 低侵襲のロボット支援手術とは？



◆ 「ダ・ヴィンチ」とは

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」は、従来の腹腔鏡手術を支援するために開発されたロボットです。外科医がコックピットに座り操作することによって、患者さんの腹腔内に挿入したロボットアームが運動し、精密かつスムーズに手術を進めることができます。ダ・ヴィンチは内視鏡手術を支援する極めて優秀なツールのひとつであり、その機能によって従来の腹腔鏡手術で弱点とされていた点を克服し、より安全かつより正確・緻密な手術を可能にしています。

ダ・ヴィンチ手術のメリット

医師のメリット ~従来の腹腔鏡手術との違い~

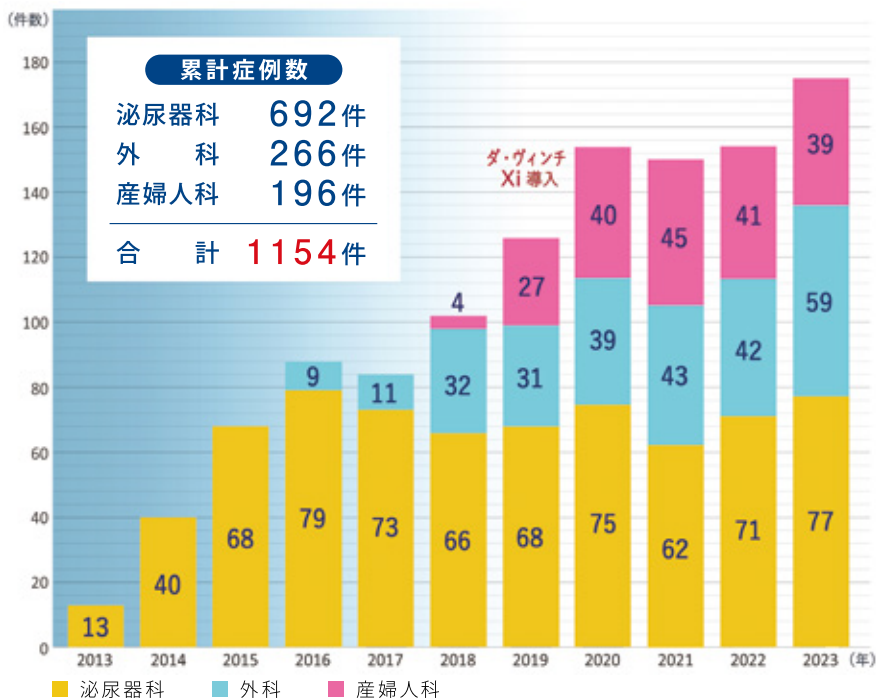
- 高解像度の3Dカメラの搭載
これにより、立体的な体内の画像を近接・拡大して見ることができ、
・細かな血管や神経も明瞭に認識できる
- 多関節構造と手振れ機能を備えたアーム
これにより、
・鉗子の動きが制限されず、人の手の限界を超えた自在な動きが可能
・深く狭い骨盤内などでも、繊細で精密な動作ができる

患者さんのメリット

- 手術中の出血量が少ない
- 傷口が小さいため、術後の疼痛を軽減し、回復を早める
- 入院期間が短く済み、早い社会復帰ができる
- 当院のダ・ヴィンチ手術はすべて保険適用されている

これらの機能により、より精緻な手術が可能となり、根治性と排尿・性機能などの機能温存が両立でき、早期の回復と後遺症の少なさを実現しています。

[水戸赤十字病院 ダ・ヴィンチ手術件数]



▶▶▶ 水戸赤十字病院の症例実績と強み

当院は2013年に泌尿器科、続いて外科、産婦人科とダ・ヴィンチの領域を広げてきました。この3つの診療科は当院の主力であり、ダ・ヴィンチを取り入れたことで更に可能性を伸ばし続けています。

コロナ禍ではあらゆる制限を受け、通常通りに手術を行うことが難しい時期もありましたが、その中でも着々と実績を積み重ね、2023年2月には症例が1,000件に到達しました。

当院の強みとしてまず挙げられるのは、骨盤内の臓器に対する手術ができることです。外科、泌尿器科、産婦人科を網羅していることで、いずれの領域でもダ・ヴィンチによるアプローチが可能となり、神経の密集する深く狭い骨盤内にも、より低侵襲で精密な手術を行えます。

また、産婦人科では良性疾患においてもロボット支援手術を行っています。低侵襲な手術を悪性疾患以外でも選択できることは、患者さんにとって大きなメリットになります。

ダ・ヴィンチを操る医師たち

❖ 外科

SURGERY



SHATARIT.

捨田利 外茂夫 (しゃたり・ともお)

下部消化管外科部長
災害・国際協力対策室長
専門分野：消化器外科一般

▶ダ・ヴィンチ担当分野：直腸

《認定医・専門医・資格》

- 日本外科学会指導医・専門医
- 日本大腸肛門病学会指導医・専門医・評議員
- 日本消化器外科学会指導医・専門医／消化器がん外科治療認定医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医



SHIMIZU Y.

清水 芳政 (しみず・よしまさ)

上部消化管外科部長 放射線科部長
医療社会事業部長 教育研修推進室長
専門分野：消化器外科一般

▶ダ・ヴィンチ担当分野：上部消化管

《認定医・専門医・資格》

- 日本外科学会指導医・専門医
- 日本消化器外科学会指導医・専門医／消化器がん外科治療認定医
- 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科)
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 専門医(国内A級)
- 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定プロクター(消化器・一般外科)



TACHIKAWA N.

立川 伸雄 (たちかわ・のぶお)

下部消化管外科副部長
専門分野：消化器外科一般

▶ダ・ヴィンチ担当分野：結腸・直腸

《認定医・専門医・資格》

- 日本外科学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医／消化器がん外科治療認定医
- 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科)
- 日本大腸肛門病学会専門医

❖ 泌尿器科



NOZAWA E.

野澤 英雄 (のざわ・えいゆう)

副院長 第一泌尿器科部長
専門分野：尿路性器腫瘍学・男性不妊症・性機能障害

▶ダ・ヴィンチ担当分野：泌尿器全般

《認定医・専門医・資格》

- 日本泌尿器科学会指導医・専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本泌尿器科学会／日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会ロボット支援手術認定プロクター(前立腺・膀胱)(腎・尿管)
- 日本東洋医学会認定医
- 日本性機能学会専門医

❖ 産婦人科



SUGIYAMA M.

杉山 将樹 (すぎやま・まさき)

産婦人科部長
専門分野：婦人科腫瘍・内視鏡手術・緩和医療・女性医学

▶ダ・ヴィンチ担当分野：悪性腫瘍全般／臓器脱

《認定医・専門医・資格》

- 日本産科婦人科学会産婦人科指導医・専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医
- 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

UROLOGY

OBSTETRICS AND GYNECOLOGY

医師が語る。ダ・ヴィンチの可能性と未来

▶▶▶ 当院で執刀可能なダ・ヴィンチ手術

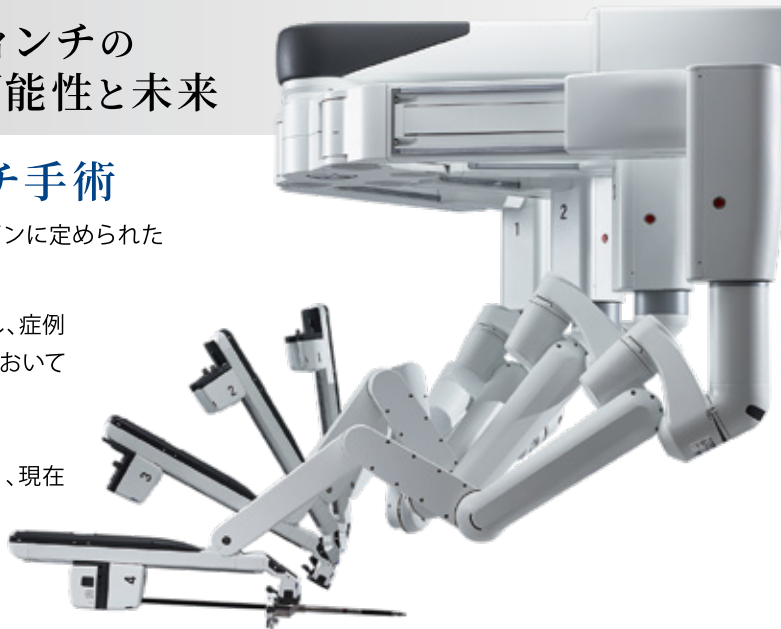
当院のダ・ヴィンチ手術は、各領域の専門医が関連学会のガイドラインに定められた一連のトレーニングを受け、実施しています。

現在当院では、2024年内の結腸癌手術(※)の保険診療承認を目指し、症例数を重ねているところです。同外科においては、肝胆膵や食道の領域においても導入を目指しております。

婦人科は、現在保険診療で認められた術式はすべて実施可能です。

泌尿器科では、悪性腫瘍手術はすべての保険診療術式が可能であり、現在腹腔鏡下腎盂形成術の導入を検討しております。

現状に満足せず、当院はさらにダ・ヴィンチ手術の適用を広げ、患者さんに提案できるよう技術を磨いてまいります。



外科 術式(執刀医)

腹腔鏡下胃全摘術	(清水芳政)
腹腔鏡下胃切除術(幽門側胃切除術)	(清水芳政)
腹腔鏡下胃切除術(幽門保存胃切除術)	(清水芳政)
腹腔鏡下噴門側胃切除術	(清水芳政)
腹腔鏡下直腸切除・切断術	(捨田利外茂夫/立川伸雄)
腹腔鏡下結腸切除術(※)	(立川伸雄)



泌尿器科 術式(執刀医)

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(野澤英雄/露崎康一)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	(野澤英雄)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術	(野澤英雄)
腹腔鏡下腎部分切除術	(野澤英雄)
腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術	(野澤英雄)

産婦人科 術式(執刀医)

腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	(杉山将樹)
腹腔鏡下仙骨腔固定術	(杉山将樹/豊澤秀康)
腹腔鏡下子宮全摘術	(杉山将樹/豊澤秀康/坂場大輔)

医療と患者さんの未来のために

ダ・ヴィンチは人の手の限界を超えた多機能・高性能の手術サポートツールです。もちろん訓練は必要ですが、使いこなせば医師の技量を補い、手技のばらつきを平準化し、より短い期間での技術習得を可能にします。

ダ・ヴィンチに続き初の国産ロボット「hinotori(ヒノトリ)」など、今後も新たな手術支援ロボットの開発・導入が進み、医療現場でますます拡大していくでしょう。

名医の代名詞でもある“神の手”ではなく、すべての医師が同じ技術をもって等しく正確な手術ができる未来を目指すとともに、より質の高い医療を患者さんにいち早く届けられるよう、水戸日赤は新規医療を積極的に導入していきます。

複数の選択肢の中から、患者さん一人一人に寄り添った最適な治療法と一緒に決めていきたいと思っておりますので、お困りの際はぜひご相談ください。そしてどうか新しい医療を敬遠せず、安心して、さらには関心をもって受けていただければと思います。

ダ・ヴィンチ 雑学

ダ・ヴィンチはもともとは戦地の負傷兵士を本土や空母から遠隔で治療するためにアメリカで開発された軍用システムでした。湾岸戦争が予定より早く終結し、民間の開発に変わって現在の運用になりました。

患者さまならびに関係者の皆さまへ



水戸赤十字病院
院長 佐藤 宏喜 (享年66歳)

院長 佐藤 宏喜(享年66歳)は、令和6年2月19日(月)に逝去いたしました。
ここにあらためて生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。
葬儀等は、遺族と当院の合同葬にて執り行いました。

院長のありし日の姿を偲びつつ、その志を引継ぎ、
職員一同「地域に愛され、信頼される病院」を全力で目指してまいります。

故人 佐藤 宏喜

略歴 1983年 島根医科大学医学部(現:島根大学医学部)卒業
慶應義塾大学医学部外科学教室等を経て
1989年 水戸赤十字病院
2013年 水戸赤十字病院 副院長
2019年 水戸赤十字病院 院長